

2021年度 学生による授業評価の結果について(報告)

1.概要

(1) 趣旨

本学では、大阪歯科大学授業評価実施規程に基づき、毎年度開講される授業について、学生による授業評価を実施しています。

本学では、カリキュラム・ポリシーに基づき、カリキュラムが適正に運用され、有効に機能しているかどうかを評価・検証し、改善活動に生かすことを目的に、毎年度カリキュラムの評価を行っています。授業評価等の在学生による調査の結果は、カリキュラム評価のエビデンス(根拠となるデータ)のひとつとして活用するため、原則としてシラバスにもとづくすべての開講科目について実施しています。

2021年度に実施された授業評価アンケートの結果について集計をおこない、全学的な傾向について報告いたします。

(2) 評価方法

《対象》 原則、全科目で実施

《実施期間》 半期毎(2021年度前期・後期修了時。通期実施科目は最終授業終了時。)

《得点算出方法》 評価基準1～3の合計得点を100点換算

【評価基準1】4段階評価 6項目30点満点

すべてのコマについて該当する	5
半数以上の実施コマについて該当する	3
半数未満の実施コマについて該当する	1
まったく該当しない	0

《評価項目》「講義・演習に関する」6項目

項目① シラバスに記載された内容のとおり講義・演習が実施されていた

項目② 知識及び技能の獲得のために工夫した教材、設備・機器、モデルを活用していた

項目③ 講義・演習を進めるにあたり、口頭試問やワークシートなどを活用し、受講者の理解度を
確認する工夫がなされていた

項目④ 講義時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEBシステムなどを活用し、受講者から
の質疑に適切に対応していた

項目⑤ 一方的な講義形式ではなく、受講者の主体的・能動的な講義参加を意識した授業運営・演
習により、より興味を持ち、深く学びたいと感ずることができた

項目⑥ 予習・復習など自主学習教材(WEB・紙を問わない)が提供されていた

≪評価項目≫「講義・実習に関する」6項目

項目① シラバスに記載された内容のとおり講義・実習がなされていた

項目② 実習の意味や位置づけについて、あらかじめ適切な説明や指導がなされた

項目③ 実習は、タイムリーに説明・助言を行われ、教員の関わりによって実践的な理解が深まった

項目④ 講義・実習時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEBシステムなどを活用し、受講者からの質疑に適切に対応していた

項目⑤ 知識・技能及び態度の習得のために工夫した教材・設備・機器、モデルを活用するなど実習環境は備わっていた

項目⑥ 予習・復習課題など自主学習教材(WEB・紙問わない)が提供されていた

【評価基準2】総合評価 10点満点

≪評価項目≫10点満点(主観評価)

項目⑦ すべての実施コマをとおして、シラバスに掲載された学習目標を達成できる科目設定であった

【評価基準3】総合評価 10点満点

≪評価項目≫10点満点(主観評価)

項目⑧ すべての実施コマをととして該当するディプロマ・ポリシーを身につけられる科目設計であった

(3) 結果(歯学部)

【科目数】

	講義・演習	講義・実習
第1学年	15	4
第2学年	1	14
第3学年	12	7
第4学年	9	6

【100点換算の得点】

	講義・演習(N:37)	講義・実習(N:31)
最高得点	91.6	89.8
最小得点	64.0	71.8
平均点	80.7	80.6
標準偏差	6.1	4.2

【学年別平均】

	講義・演習	講義・実習
第1学年	80.2	80.5
第2学年	69.7	79.2
第3学年	77.2	78.9
第4学年	87.4	85.7

- 「講義・演習」「講義・実習」の全体平均はいずれも80点以上と高得点であった。
- 全体として評価が高かったものは、設問1の「シラバスに記載された内容どおりに講義・演習・実習が実施されていた」であり、学生にとって学修内容が明確に提示されていたことがわかる。
- 全体として評価が低かったのは「講義・演習」では設問5の「一方的な講義形式ではなく、受講者の主体的・能動的な講義参加を意識した授業運営・演習により、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた」、講義・実習では設問6の「予習・復習課題など自主学習教材が提供されていた」であったことから、演習においては学生による能動的な講義参加が、実習においては自主学習の手助けとなる資料が求められていると言える。
- 「講義・演習」「講義・実習」ともに4学年の評価が高く、「講義・演習」・「講義・実習」のすべての設問項目において多学年よりも高い評価を得ている。

【講義・演習】

基準1	1. シラバスに記載された内容どおりに講義・演習が実施されていた	5点： 4 すべてのコマについて該当する 3点： 3 半数以上の実施コマについて該当する 1点： 2 半数未満の実施コマについて該当する 0点： 1 まったく該当しない
	2. 知識及び技能の獲得のために工夫した教材、設備・機器、モデルを活用していた	
	3. 講義・演習を進めるにあたり、口頭試問やワークシートなどを活用し、受講者の理解度を確保する工夫がなされていた	
	4. 講義時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEB システムなどを活用し、受講者からの質疑に適切に対応していた	
	5. 一方的な講義形式ではなく、受講者の主体的・能動的な講義参加を意識した授業運営・演習により、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた	
	6. 予習・復習課題など自主学習教材(WEB・紙問わない)が提供されていた	
基準2	7. すべての実施コマを通してシラバスに掲載された学習目標を達成できる科目設計であった(10段階で評価)	
基準3	8. すべての実施コマを通して該当するディプロマ・ポリシーを身に付けられる科目設計であった(10段階で評価)	

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	基準1	基準2	基準3	合計	100点換算
全体平均	4.50	4.37	4.27	4.27	4.24	4.14	25.79	8.44	8.45	42.7	85.4
第1学年	4.57	4.42	4.25	4.27	4.19	4.07	25.76	8.66	8.65	43.1	86.1
第2学年	4.40	4.15	4.05	4.10	4.07	4.01	24.79	8.31	8.30	41.4	82.8
第3学年	4.43	4.43	4.43	4.35	4.36	4.25	26.25	8.20	8.21	42.7	85.3
第4学年	4.63	4.63	4.56	4.54	4.56	4.46	27.38	8.25	7.71	43.3	86.7
標準偏差	0.10	0.17	0.19	0.16	0.18	0.18	0.93				

【講義・実習】

基準1	1. シラバスに記載された内容どおりに講義・実習が実施されていた	5点： すべてのコマについて該当する 3点： 3 半数以上の実施コマについて該当する 1点： 2 半数未満の実施コマについて該当する 0点： 1 まったく該当しない
	2. 実習の目的や位置づけについて、あらかじめ適切な説明や指導がなされた	
	3. 実習は、タイムリーに説明・助言を行われ、教員の関わりによって実践的な理解が深まった	
	4. 講義・実習時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEB システムなどを活用し、受講者からの質疑に適切に対応していた	
	5. 知識、技能及び態度の修得のために工夫した教材、設備・機器、モデルを活用するなど実習環境は整っていた	
	6. 予習・復習課題など自主学習教材(WEB・紙問わない)が提供されていた	
基準2	7. すべての実施コマを通してシラバスに掲載された学習目標を達成できる科目設計であった(10段階で評価)	
基準3	8. すべての実施コマを通して該当するディプロマ・ポリシーを身に付けられる科目設計であった(10段階で評価)	

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	基準1	基準2	基準3	合計	100点換算
全体平均	4.49	4.49	4.46	4.32	4.42	4.08	26.26	8.83	8.83	43.9	87.8
第1学年	4.40	4.43	4.43	4.32	4.48	4.12	26.19	8.87	8.90	44.0	87.9
第2学年	4.61	4.52	4.57	4.49	4.61	4.18	26.99	9.03	9.15	45.2	90.3
第3学年	4.26	4.29	4.17	3.99	4.07	3.51	24.30	8.44	8.49	41.2	82.4
第4学年	4.61	4.60	4.60	4.45	4.51	4.40	27.17	9.01	8.82	45.0	90.0
標準偏差	0.15	0.11	0.17	0.20	0.21	0.33	1.14				

(4) 結果(医療保健学部)

【科目数】

	講義・演習	講義・実習
第1学年	38	4
第2学年	34	8
第3学年	23	11
第4学年	15	9

【100点換算の得点】

	講義・演習(N:110)	講義・実習(N:32)
最高得点	100.0	100.0
最小得点	46.5	73.6
平均点	85.4	87.8
標準偏差	6.9	6.8

【学年別平均】

	講義・演習	講義・実習
第1学年	86.1	87.9
第2学年	82.8	90.3
第3学年	86.9	84.2
第4学年	89.2	90.0

- 全体の平均点では「講義・演習」「講義・実習」はいずれも85点以上と高評価を獲得した。
- 基準1においては第4学年が、基準2・3においては第2学年の評価が高い結果となった。
- 評価の低かった項目は設問6「予習・復習課題など自主学習教材が提供されていた」であり、全ての学年で一番低い項目となった。学年問わず学部全体で、自主学習を行える教材の提供が課題であるといえる。

【講義・演習】

基準1	1. シラバスに記載された内容どおりに講義・演習が実施されていた	5点： 4 すべてのコマについて該当する 3点： 3 半数以上の実施コマについて該当する 1点： 2 半数未満の実施コマについて該当する 0点： 1 まったく該当しない
	2. 知識及び技能の獲得のために工夫した教材、設備・機器、モデルを活用していた	
	3. 講義・演習を進めるにあたり、口頭試問やワークシートなどを活用し、受講者の理解度を確認する工夫がなされていた	
	4. 講義時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEB システムなどを活用し、受講者からの質疑に適切に対応していた	
	5. 一方的な講義形式ではなく、受講者の主体的・能動的な講義参加を意識した授業運営・演習により、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	
	6. 予習・復習課題など自主学習教材(WEB・紙問わない)が提供されていた	
基準2	7. すべての実施コマを通してシラバスに掲載された学習目標を達成できる科目設計であった(10段階で評価)	
基準3	8. すべての実施コマを通して該当するディプロマ・ポリシーを身に付けられる科目設計であった(10段階で評価)	

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	基準1	基準2	基準3	合計	100点換算
全体平均	4.50	4.37	4.27	4.27	4.24	4.14	25.79	8.44	8.45	42.7	85.4
第1学年	4.57	4.42	4.25	4.27	4.19	4.07	25.76	8.66	8.65	43.1	86.1
第2学年	4.40	4.15	4.05	4.10	4.07	4.01	24.79	8.31	8.30	41.4	82.8
第3学年	4.43	4.43	4.43	4.35	4.36	4.25	26.25	8.20	8.21	42.7	85.3
第4学年	4.63	4.63	4.56	4.54	4.56	4.46	27.38	8.25	7.71	43.3	86.7
標準偏差	0.10	0.17	0.19	0.16	0.18	0.18	0.93				

【講義・実習】

基準1	1. シラバスに記載された内容どおりに講義・実習が実施されていた	5点： すべてのコマについて該当する 3点： 3 半数以上の実施コマについて該当する 1点： 2 半数未満の実施コマについて該当する 0点： 1 まったく該当しない
	2. 実習の目的や位置づけについて、あらかじめ適切な説明や指導がなされた	
	3. 実習は、タイムリーに説明・助言を行われ、教員の関わりによって実践的な理解が深まった	
	4. 講義・実習時間内にとどまらず、オフィス・アワーやWEB システムなどを活用し、受講者からの質疑に適切に対応していた	
	5. 知識、技能及び態度の修得のために工夫した教材、設備・機器、モデルを活用するなど実習環境は整っていた	
	6. 予習・復習課題など自主学習教材(WEB・紙問わない)が提供されていた	
基準2	7. すべての実施コマを通してシラバスに掲載された学習目標を達成できる科目設計であった(10段階で評価)	
基準3	8. すべての実施コマを通して該当するディプロマ・ポリシーを身に付けられる科目設計であった(10段階で評価)	

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	基準1	基準2	基準3	合計	100点換算
全体平均	4.49	4.49	4.46	4.32	4.42	4.08	26.26	8.83	8.83	43.9	87.8
第1学年	4.40	4.43	4.43	4.32	4.48	4.12	26.19	8.87	8.90	44.0	87.9
第2学年	4.61	4.52	4.57	4.49	4.61	4.18	26.99	9.03	9.15	45.2	90.3
第3学年	4.26	4.29	4.17	3.99	4.07	3.51	24.30	8.44	8.49	41.2	82.4
第4学年	4.61	4.60	4.60	4.45	4.51	4.40	27.17	9.01	8.82	45.0	90.0
標準偏差	0.15	0.11	0.17	0.20	0.21	0.33	1.14				